

令和6年3月17日発行

真言宗御室派



長泉寺

〒700-0807

岡山市北区南方3丁目10番40号

TEL (086) 223-7450

FAX (086) 221-0302

振込 岡山 01250-6-6418

ホームページ www.chosenji.net

長泉寺だより 第347号

星空を眺めているとつくづく不思議な気持ちになる。天に広がる途方もない宇宙、そして我々が住むこの世界は、いつどのようにして始まったのだろう。

西洋ではかつて天動説が説かれ、それがやがて地動説へと変わり、二十世紀になると量子力学や宇宙物理学などによって「ビッグバン」と呼ばれる宇宙誕生論ができた。天文学者による観測と物理学者による計算が、宇宙が膨張し続けていることを発見したのだ。よって、宇宙の初期はごく小さかったはずで、そこから世界は始まったのだと考えられた。

ところが現代では、新たな宇宙論が主流となりつつある。最先端の物理学では、ビッグバン

む し む じゅう
無 始 無 終
ひ と も し

の前にも別の宇宙があっただろうと計算され、その前にもまた別の宇宙があったはずだと予測されるそう。さらには宇宙が複数ある可能性も論じられており、世界の始まりという謎は益々に深まっていると言える。

他方で仏教は、世界は無始より此の方存在し、始まり無ければ終わりも無しとする。創造主も立てない。ただ有るのは変化のみ——無始無終にして、諸行無常だと説く。

考えてみると「私」というものもそう。

いつ始まったのかと問われても、記憶にない。気づいた時にはもう始まっていて、その延長を今日も生きている。ひよっとすると、終わりの意外とそういうものかもしれない。(龍)

本尊法楽 先祖供養

万灯万華供養 本尊大祭

5月5日、6日、7日 毎夜18時半～「万灯万華供養法要」

5月8日(水)13時～16時 結願「中曲理趣三昧法要」

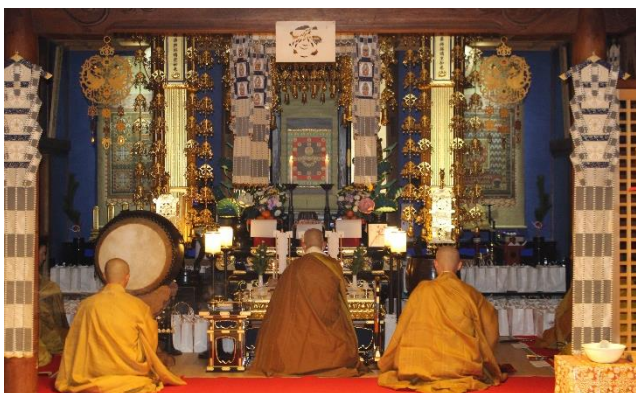
本尊厨子が開扉され 三日三晩 全九座の法要を奉修
回向塔婆 灯篭供養にて 檀徒各家精霊に回向を捧げます
5/8 結願には 岡山市内有縁の真言宗寺院様にご参集され
盛大な法要が執り行われます
どうぞお繰り合わせご参拝下さいませ

回向塔婆供養 二千元也／一本
灯 篭 供 養 二千元也／一基
位牌供養申受け 三千元也／一基
※お位牌を本尊前に安置し 三日三晩 ご供養いたします
詳しくは別紙ご案内用紙をご確認ください

節分星まつり

春の訪れを告げる二月三日、恒例の「節分星まつり」を奉修しました。

当日は雨模様となり、例年よりも少ない参拝者数ではありませんでしたが、五十名ほどの皆様と『般若心経』、『星供本尊咒』を元氣にお唱えするとともに、本堂には金鳴護摩や法楽太鼓が鳴り響き、立春らしい賑やかな法会となりました。



また、備前太鼓唄弘西普及会の皆様による「獅子舞奉納」、さらには節分厄払い豆まきも行われました。

厄除け祈願のために奉納いただいた多くの御供（お菓子、ジュースなど）は、お土産として皆様にお持ち帰りいただいたほか、児童養護施設備作恵済会「若松園」様にご寄付をさせていただきますました。

当祭を奉修するにあたり、ご協力いただいたすべての皆様に心より感謝を申し上げます。

涅槃会

釈尊入滅日である二月十五日、玉佛釈迦如来像を祀る玉佛堂を道場に、涅槃会を奉修しました。

『佛涅槃図』、並びに『十六羅漢図』を掲げ、四座（涅槃講、羅漢講、遺跡講、舍利講）それぞれの和讃を奉唱。大恩教主釈迦如来の遺徳を称える法会を修すとともに、参拝者皆さまには住職による涅槃図の読み解きをお聞きいただきました。仏法とのご縁に感謝しながら、涅槃会は毎年二月十五日に行っております。



寺子屋文化講座



第四十四回目の開催となった「長泉寺寺子屋文化講座」は二月二十七日、岡山民族学会元理事長の難波俊成先生を講師にお迎えし、「岡山市の墓地の変遷」というテーマでお話をいただきました。

難波先生には、「墓」というものの意味や歴史、そして岡山市においてどのように現在の東山、半田山といった巨大墓地が形成されていったのかということについて、詳しく解説をしていただきました。

奉納

株式会社グロップ様（中区樞東町）は、本年七月に開催予定の当山夏まつりを盛り上げようと、同社がメインスポンサーを務めるJリーグサッカークラブ「フアジアーノ岡山」様の今シーズン選手サイン入りユニフォームを、昨年に引き続き当山へ奉納して下さいました。

いただいたユニフォームは、夏まつりのお楽しみ抽選会（子ども部）にて、当選者にプレゼントさせていただきます予定です。



原田清子様（株GROP 会長夫人・写真左）

コンサート環



長泉寺合唱団ナーガは二月四日、旧日銀ルネスホール（北区内山下）で行われた「コンサート環」に昨年に引き続き出演いたしました。

この一年でメンバーが増え、歌唱力も大きく向上したナーガの歌声に対して、ご来場いただいた方々より多くの賛辞をいただきました。

ありがとうございました。

玉佛堂 奉納のぼり幡のご案内



ぎよくぶつどう
令和4年春に落慶した「玉佛堂」は、檀信徒精霊を弔うため主に檀家年忌法事を行う八角円堂です。その本尊である「玉佛釈迦牟尼如来」（中国洛陽市白馬寺請来）を讃えるための「のぼり幡」を奉納いただけます御方には、当山までご連絡下さいませ。

玉佛堂奉納のぼり幡 5,000円也/一基



東日本大震災追悼法会
三月十一日、平成二十三年「東日本大震災」発生時刻午後二時四十六分、当山鐘楼門にて追悼の鐘を撞くとともに、本堂にて犠牲物故者に回向する法会を奉修しました。

長泉寺の縁日法会へ どうぞご参拝ください

毎月8日10時～ 本尊縁日法会

21日10時～ 大師縁日法会

28日10時～ 不動縁日護摩供

ボランティア基金会 能登半島地震救援活動

AMDAへ百万円を寄付



写真左から龍門住職、多田章利総代、浦上洋総代、
難波妙 AMDA 副理事長、

長泉寺ボランティア基金会は
三月八日、当山檀信徒の志納に
よって集められた「令和六年能
登半島地震救援募金」百万円を、
国際医療 NGO「AMDA」
(アムダ・北区伊福町)へ寄託
いたしました。

同震災直後より石川県輪島市
に入り緊急医療支援活動を実施
してきたAMDAは、主に市内
中学校を拠点に避難所の衛生管

理、感染症診療などを担い、発
災後直後の被災地医療を支えま
した。

約一カ月にわたり医療活動を
実施した後、二月三日を以って
その活動を地元の医療機関へと
引き継ぎ、今後は被災地の状況
に合わせて、教育支援や交流事
業を実施していく予定です。現
地の状況やニーズが刻々と変化
していく中で、今後も引き続き
柔軟な対応が求められます。

当ボランティア基金会として
も、引き続き支えて参りたいと
考えております。

なお、能登半島地震救援募金
をAMDAへ持参したこの日、
当ボランティア基金会はこれま
でに寄せられていた「ウクライ
ナ難民支援金」の追加分計二十
三万円、「トルコ地震復興支援
募金」計六万五千円も併せて持
参寄付しております。

ご協力賜りました皆様には、
厚く御礼を申し上げます。

【AMDA緊急医療支援活動】

一月一日	発災
二日	調整員二名が輪島市 立輪島病院へ入り、 現地ニーズを調査
四日	医師、看護師ら合流 避難所の調査
五日	第二次チーム派遣
六日	感染症の確認
七日	輪島中学校を活動拠 点とし、現地での診 療を開始
八日	第三次チーム派遣
九日	第四次チーム派遣
十二日	巡回診療および避難 環境に関する聞き取 り調査を実施
十五日	第五次チーム派遣
十七日	第六次チーム派遣
十八日	第七次チーム派遣
十九日	避難所へ段ボールベ ッド設置
二十二日	第八次チーム派遣
二十三日	避難所での健康スト レッチ開始
二十四日	地元医療との連携を 開始
二十六日	避難所へ血圧計を設 置。緊急時以外の診 療を地元のかかりつ け医へ移行

二十八日 地元医療へ一本化を
決定

二月一日 発災一カ月
三日 被災地での医療支援
活動終了

AMDAからの派遣者（医師・
看護師・調整員）のべ四十八名。
診療対応数七九二件（胃腸炎・
コロナ・インフルエンザなど）



長泉寺ボランティア基金会 寄付金の受付

ゆうちょ銀行 総合口座
15460 30539111

郵便局以外の金融機関から振込む場合は

【店名】五四八 【店番】548

【預金種目】普通預金

【口座番号】30539111

ご協力をお願いします

令和六年能登半島地震救援募金

志納者ご芳名

令和六年一月二日～三月十二日

敬称略 順不同

服部政子 朝森喜久子 村松律子
高杉泰彦 矢吹哲男 伊藤圭子
有松啓介・絹子 沖田武司
谷芳樹 丸山惣一 斎藤忠正
安達泰昌 安宅正子 酒井勉
白岩あけみ 前原肇 稲田公子
田中健治・律子 小林原義
遠藤英弘 大西緑 杉谷和穂
穂田哲也 高見智子 千葉義明
湯之上良光 浮田當枝 小原洋美
重藤美代子 瀬尾文子 中塚典郎
保崎千代子 大橋淳男 小林閑子
時吉正志 中川美代子 松田恭子
中塚房子 笹山善男 渡邊進
小西武・晴子 定清勇 河崎邦彦
小林道子 牧村秀章 山本弘敏
高橋百合子 福池忠重 金井勇
大橋千代子 西方邦春 原田清子
高見美代子 信部淳子 石村学
山下弘子 豊後康弘 難波忠夫
伊達浩子 石原縉吾 山田紀香
嘉数英美 四宮満子 西尾新一

藤井寛子 新免幸子 速水睦枝
三宅信好 高取邦子 丸山幸男
佐藤由美 渡部新平 武田裕子
三宅恒夫 山口久 木下一男
野村和江 秋庭隆志 杉山花子
島本昭子 西田美智子・幸子
田原真由美 真部晃 奥昭恵
石井進 土松良一 大橋正和
ムラタノブコ 浦上洋 人見雅子
人見和幸 人見友佳子 人見禎昭
行本美子 北川喜信 徳森康子
柳井一秀 松井志津雄 井上正美
石原二三子 野崎豊 米田利佐
田中強 落合かおり 松田寿美子
西上早苗 岡本延枝 宮本ユリカ
渡辺ヒロコ 佐藤恭子 川上節夫
香川和道 玉井茂松 藤岡聖士
笠井美智子 笠井照子 登尾美行
間健一 成田泰浩 成田みさこ
成田大志 成田剛志 木下博夫
妹尾政典 白神美保 富田英行
長江志満子 中川通子 古川季靖
山下明美 田中幸治 光岡香里
田邊善治 富田伊久子 谷口悦朗
中村久美子 岸本諭 宮本光研
宮本容子

ウクライナ難民支援募金

志納者ご芳名(追記分)

令和五年六月～令和六年三月十二日

敬称略 順不同

家守徑子 伊藤圭子 中村久美子
白神美保 橋本時夫 原田清子
松本友宏 山田紀香 光岡香里
長江志満子 難波治子 原田恵昭
石原眞名美 佐藤恭子

志納金累計

能登半島地震救援募金 ￥918,875
ウクライナ難民支援金 ￥722,148
トルコ地震復興支援金 ￥64,572

あたたかいご支援に対し、心より厚く御礼申し上げます。

長泉寺ボランティア基金会

能登半島地震満中陰忌法会

能登半島地震満中陰忌にあたる二月十八日、真言宗御室派備前宗務支所は、同地震物故者供養のため、現在支所が置かれている大福寺(中区御成町)の本堂にて理趣三昧法会を奉修しました。

発災時刻に合わせて追悼の鐘を鳴らすとともに、参集した二十ヶ寺の僧侶が読経。龍門住職は法会の執行を司る「威儀師」を勤めました。



寺院の名前には、必ず「〇〇山〇〇寺〇〇院」といった形で山号、寺号、院号と呼ばれるものがあります。当山のそれと云いますと、「薬園山長泉寺医王院」というのが正式名称で、「長泉寺」はその略称です。

さて今回は、長泉寺の山号である「薬園山」にまつわるお話です。そこには岡山藩初代藩主

池田光政公、並びに二代藩主綱政公との深い関わりがあるので

す。

光政公と言え、閑谷学校を創建したことで有名ですが、強い想いを持って岡山藩の教育改革を行った御方です。その一環で、岡山藩学校は和気閑谷だけでなく、城下町にも造営されました。

かなり広大な敷地ではありませんが、そこには大きな校舎があるというわけではなく、池や牧草地、さらには田園や茶畑などが置かれ、言わば街はずれの閑静な場所というような雰囲気だっただろうと思われます。またそこには、学校関係者が居宅する長屋のほか、藩主が寛ぐための「御殿御茶屋」が建てられました。綱政公はそれらの整備に関して、意匠や造園について細かな指示を出しており、南方村の下屋敷に対する池田家親子のこだわりを感じるところです。

長泉寺の近辺は、宇喜多家の



「元禄城下絵図」(岡山大学付属図書館蔵)

光政公によって寛文六年(一六六六)に創建された藩学校ですが、開校早々に生徒数が急増したため、二年後の寛文八年(一六六八)、現在の岡山中央中学校(北区蕃山町)付近へ新校舎の建設事業が始まりました。またそれに併せて、現在の長泉寺が位置する辺り、即ち御野郡南方村に学校下屋敷二町(約六、〇〇坪)が設けられまし



池田光政公(林原美術館蔵)



池田綱政公(林原美術館蔵)

時代より薬草や野菜類が栽培されている場所でもあり、「薬園」と呼ばれていました。その場所に藩学校下屋敷が開設されたわけですが、そこでのカリキュラムは主に水泳、弓、火矢、鉄砲、馬などで、つまり屋外での武術訓練の場となったのです。光政公や綱政公も、元気の良い若人たりが懸命に修練する様子を眺めたことでしょう。

寛文十年七月六日、参勤交代で江戸から帰ってきた光政公は、薬園の改装後初めて御殿御茶屋で御膳を召し上げられたそうです。それ以降たびたび薬園を訪れては、綱政公や政言公(光政公の次男で鴨方藩初代藩主)ら

と遊覧されました。御殿御茶屋では、薬園池で飼われていた鯉や鮎などの料理が振る舞われ、家族や家臣のみならず、学校関係者や生徒などとも宴席が持たれました。公にとつて薬園は、城から少し離れた閑静な場所、様々な人と触れ合うことのできる憩い場であり、心の癒しとなっていたのかもしれない。

しかしながら、光政公が滅せられて四年後の貞享四年（一六八七）、綱政公は後園（現在の後薬園）の造営を開始します。薬園が持っていた憩いの場としての機能と、城東側の防衛機能を併せ持った大きな庭園を新たに希求したものと思われまふ。その意味では、薬園は後薬園の前身的な施設だったと評価できるでしょう。

その後、学校下屋敷の地は政言公に付与されることになり、薬園もその役割を終えることになりました。園の一部は「内匠

殿御家来屋敷」となり、政言公の長男である鴨方藩二代目藩主政倚公の別邸が置かれました。

以上のように、とても興味深い薬園の歴史ですが、その痕跡は「薬園山」という長泉寺の山号に残されるのみで、ご近所にお住まいの方でさえもほとんど知られていない状況です。

そこで昨年、南方中道長泉寺町内会は、薬園の歴史を後世に伝え残そうと岡山市が行っている「岡山歴史看板整備事業」へ申請し、晴れてこの度「岡山歴史のまちしるべ・御野郡南方村の薬園」という看板が当山境内に設置される運びとなりました。今月中旬には、山門横に建立される予定です。

※参考資料「資料紹介 岡山藩学校の薬園について」倉地克直先生（第二十六号関谷学校研究 二〇二一・五）

梵語「ルシャナ」

梵語「ルシャナ」は「光り輝く」の意。ルシャナブツ（盧舍那仏）は太陽そのものであり、釈尊の教えを人格化した如来——「法身」と呼ばれます。皆さんがご存じのルシャナブツと言え、やはりなんといっても奈良東大寺の大仏でしょう。これは中国洛陽市にある龍門石窟の盧舍那仏がモデルとなっています。

日本語と真言宗

名誉住職 光研

は、イタリア語で光という意味で、女性の名前として用いられます。ラテン語では「ルクス（Lux）」に当たり、英語圏には「ルシール（Lucille）」や「ルーシー（Lucy）」といった名前の女性が多いですね。いずれもラテン語から派生しているわけですが、ルシャナとの関わりを感じます。

ご真言「オン ボダ ロシヤニソワカ」は開眼咒で、ロシヤニがルシャナに同じ。光り輝く仏眼を開き、真実を見よ、という意味です。

皆さんがよくお唱えなさる「光明真言」では、「オン アボキヤ バイロシヤノウ マカボダラ・・・」となりますが、「バイロシヤノウ」は「毘盧遮那」のことで、まさに大日の輝きを意味します。

密教になると「マカビルシヤナブツ（摩訶毘盧遮那仏）」、即ち「大日如来」となり、太陽の光と異つて影を生み出さない普遍的な光へと進化しました。「除闇遍明」や「遍照金剛」と漢訳されます。一方、イタリアに「サンタ・ルチア」という有名な歌曲があります。「ルチア（Lucia）」

（続）

長泉寺 寺子屋 文化講座

Vol. 45

「佐々井秀嶺師とは何者なのか？」

岡山県出身で、半世紀にわたってインド仏教界の頂点に立つアーリヤ・ナーガルジュナ・シュレーイ・ササイ上人。

今回は、長年にわたって佐々井上人を支えている佐伯隆快師をお招きし、上人の壮絶なる半生とその生き様にせまります。

講師：佐伯隆快 師

元「南天会」事務局長
真言宗長命密寺住職

4月2日(火)

19:00~20:30

於：長泉寺本堂

参加無料・予約先着 50 名
参加ご希望の方には、
当山まで事前にお申込み下さい。

ご参加下さい！



5/18(土)~19(日)

参加費 ¥65,000

新幹線・貸切バス移動

宿泊 ホテルシングルルーム利用

申込み締切 4月末まで

主催：長泉寺 杖心会

詳しくは別紙申込用紙をご覧ください

弘法大師の足跡を訪ねる
博多 太宰府 福岡の旅

真言宗御室派 鎮国寺

総本山仁和寺 前門跡 立部祐道祝下 御自坊

全国天満宮総本宮 太宰府天満宮

天下三大戒壇 観世音寺

高野山真言宗別格本山 南蔵院

弘法大師創建 東長寺

博多総鎮守 櫛田神社

日本三大八幡 宮崎宮

将棋クラブ

毎月一回 客殿で開催中 参加無料

■71回目

4月14日(日) 13:30-16:00

■72回目

歩5月25日(土) 13:30-16:00

いつも集まったメンバーで楽しくやっています。
どなたでもお気軽にご参加ください。

特別祈禱酒 **ながいづみ**
特定店にて好評販売中
岡山天満屋 倉敷天満屋 酒ショップ山本等にて
檀信徒皆様には
よろしければぜひお求め下さい



コロナ禍の夜明けを祝う清酒

秋尊ご誕生慶祝

花まつり

4月8日(月) 13時~15時

於：後樂園鶴鳴館 主催：岡山市仏教会

永代供養塔 樂陽廟

春秋祭

4月21日(日) 11時~

奉修 合同追悼法要 於玉佛堂

長泉寺の公式ホームページをぜひご活用下さい

長泉寺 南方

検索

住職のブログ、月行事日程、文化教室のご案内など長泉寺の様々な情報がご覧になれます